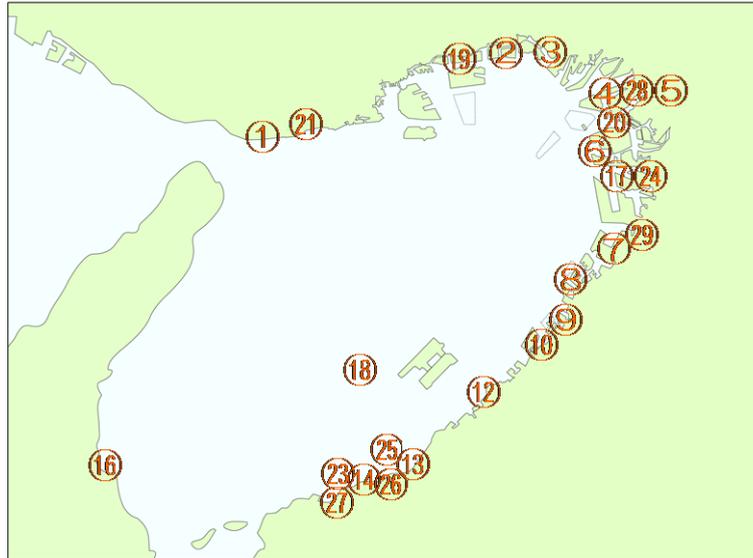


平成28年度 第9回大阪湾生き物一斉調査について

1. 調査概要

平成28年度は、6月4日を中心に、大阪湾沿岸域の25地点と大阪湾内（スナメリ調査）において、26団体、1,080名が参加して、第9回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地点及び担当団体等は図1に示すとおりです。



【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア[6/4]
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[6/5]
19 住吉川河口	豊かな森川海を育てる会[6/5]
2 香櫨園浜	西宮市貝類館[6/4]
3 甲子園浜	NPO法人 海浜の自然環境を守る会[6/5]
16 洲本市大浜	神戸市立須磨海浜水族園、成ヶ島を美しくする会 [7/2]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
29 諏訪の森海岸	浜寺公園自然の会[5/20]
7 高師浜	浜寺公園自然の会[5/22]
8 大津川河口（左岸）	きしわだ自然資料館[6/4]
9 阪南二区造成干潟	きしわだ自然資料館[6/5]
10 近木川河口	貝塚市立自然遊学館[5/22]
	NPO法人 シニア自然大学 森と海の自然科[6/9]
12 櫻井川河口・岡田湾海岸	男里川干潟を守る会[6/4]
13 樽井海岸・男里川河口干潟	男里川干潟を守る会 きしわだ自然資料館[6/20]
25 尾崎海岸	(公社)大阪自然環境保全協会 (海のふしぎ観察会) [6/4]
26 波有手海岸	NPO法人 環境教育技術振興会、 フロロシス[5/20]
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会[5/21]
23 長松海岸	(公社)大阪自然環境保全協会 (空の会 水生生物観察会) [6/22]
18 大阪湾広域[けり調査]	海遊館、大阪ECO動物海洋専門学校 [5/18、6/11]
27 深日漁港干潟	岬中学校科学部、(一社)大阪湾環境再生 研究・国際人材育成コンソーシアム [5/20]

【大阪府内】

調査地点	担当団体
4 矢倉海岸	西淀自然文化協会[6/5]
5 十三干潟（淀川）	(公社)大阪自然環境保全協会 (淀川自然観察会) [6/5]
28 海老江干潟	(公社)大阪自然環境保全協会 (淀川自然観察会) [5/22]
20 天保山	海遊館[6/4]
6 野島園臨港緑地（大阪南港野島園）	NPO法人 南港ウェットランドグループ[6/4]
17 堺2区生物共生型護岸（友海ビーチ）	(公社)大阪自然環境保全協会 (堺2区自然観察会)
24 堺浜自然再生ふれあいビーチ	NPO法人 釣り文化協会[6/5]

図1 平成28年度の調査地点一覧

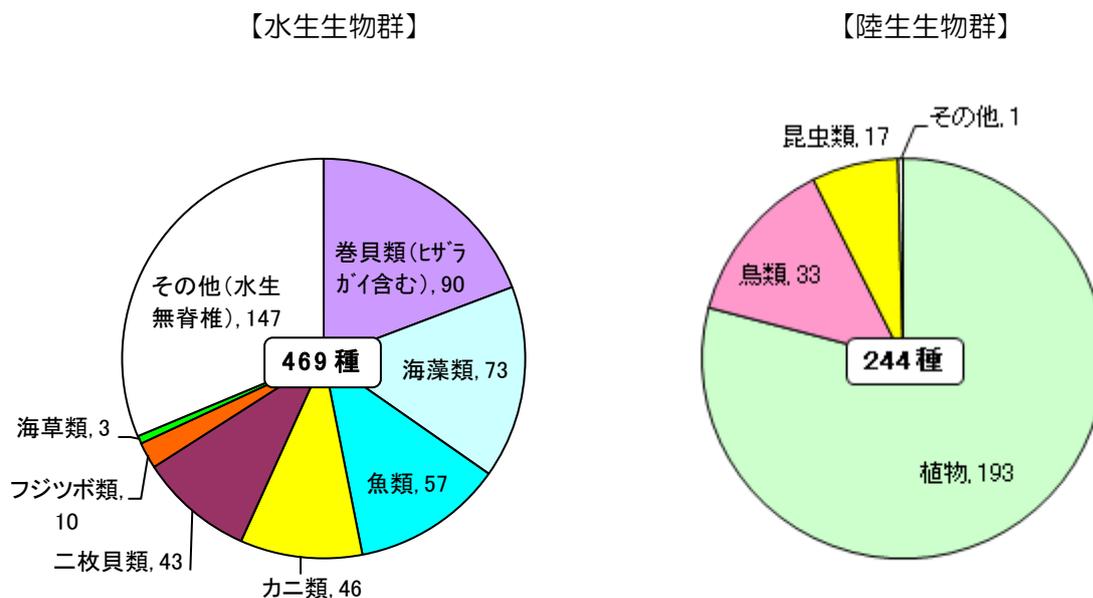
2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表1に示しました。

種名まで判別した種類は713種（うち、調査シート掲載種43種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が76種、動物は貝類が133種（巻き貝90種、二枚貝43種）、魚類が57種、カニ類が46種等でした。また、陸生生物群では、陸上植物が193種、鳥類が33種等でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWF、干潟の絶滅危惧動物図鑑の各RDBと環境省のレッドリスト（2012年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては94種類（属含む、陸生種除く）が該当しました。このうち、海藻類はスジアオノリ、タニコケモドキ等の3種、動物では、貝類がイボウミニナ、ウミニナ、サツマクリイロカワザンショウ、ミヤコドリガイ、ハザクラガイ、ユウシオガイ等の42種、多毛類がスゴカイイソメ、タマシキゴカイ等の8種、カニ類はオサガニ、スネナガイソガニ、マキトラノオガニ等の17種、魚類はアユ、ニホンウナギ等の4種、その他はクルマエビ、ハルマンズナモグリ、ヒモイカリナマコ等の14種等でした。



注) 1.数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生類、陸生無脊動物を含む。

図2 平成28年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	
海藻類	1	ユレモ目	
	2	藍藻綱	
	緑藻類	3	アオサ属(アオサ型)
		4	アオサ属(アオリ型)
		5	アナアオサ
		6	カイコロモ
		7	シオグサ科
		8	シオグサ属
		9	スジアオリ
		10	ナガアオサ
		11	ヒメアオリ属
		12	ヒラアオリ
		13	ボウアオリ
		14	ホソジュズモ
		15	ホソネダングサ
		16	ボタンアオサ
		17	ミル
		18	ミル属
		19	緑藻類
褐藻類	20	アカモク	
	21	アツハコモングサ	
	22	アミジグサ	
	23	ウミウチワ	
	24	ウミトラノオ	
	25	カジメ	
	26	サナダグサ	
	27	シダモク	
	28	タマハハキモク	
	29	ネバリモ	
	30	ヒジキ	
	31	フクロロ	
	32	ヘラヤハズ	
	33	ホンダワラ類	
	34	ヨレモクモドキ	
	35	ワカメ	
	紅藻類	36	アマリ属
37		イギス属	
38		インダンツウ	
39		イバラノリ	
40		イワカワ科	
41		ウチフツノマタ	
42		ウツロムカデ	
43		エチゴカニノテ	
44		オオバツノマタ	
45		オオマタオキツノリ	
46		オキツノリ	
47		オゴノリ	
48		オゴノリ属	
49		オバクサ	
50		カイノリ	
51		カギウスバノリ	
52		カニテ属	
53		カバノリ	
54		キブリイトグサ	
55		キョウノヒモ	
56		クロソ	
57		ケイギス	
58		コメノリ	
59		サクラノリ	
60		シキンノリ	
61		シラモ	
62		スギノリ	
63		ソノ属	
64		タオヤギソウ	
65		タニコケモドキ	
66		タンバノリ	
67		ツノマタ	
68		ツノムカデ	
69		ツルシラモ	
70		ツルツル	
71		トサカマツ	
72		ニクムカデ	
73		ハイウスバノリ属	
74		ハイテングサ	
75		ヒメテングサ	
76		ビリヒバ	
77		フクロフノリ	
78		フシツナギ	
79		フダラク	
80		ベニスナゴ	
81		ベニマダラ	
82		ベニマダラ科	
83		ホソアヤギヤ	
84	マクサ		

分類群	No.	和名	
海藻類(続き)	紅藻類(続き)	85	マサゴンバリ
		86	マツノリ
		87	マルソソ
		88	マルバアマノリ
		89	ミノオゴノリ
		90	ムカデノリ
		91	ムカデノリ属
		92	ワツナギソウ
		93	無節サンゴモ類
		海草類	1
2	ウミヒルモ		
3	コアマモ		
植物	1	アオカモジグサ	
	2	アオギリ	
	3	アオツツラフジ	
	4	アカツメクサ	
	5	アカメガシワ	
	6	アキグミ	
	7	アキニレ	
	8	アキノゲンシ	
	9	アキノミチヤナギ	
	10	アケビ	
	11	アメリカオニアザミ	
	12	アメリカセンダングサ	
	13	アメリカナシカズラ	
	14	アメリカフウロ	
	15	アレチウリ	
	16	アレチギンギク	
	17	アレチヌスビトハギ	
	18	アレチハナガサ	
	19	アレチムラサキ	
	20	イソギク	
	21	イタドリ	
	22	イヌコモチナデシコ	
	23	イヌホオズキ	
	24	イヌムギ	
	25	ウシオハナツツメクサ	
	26	ウバメガシ	
	27	ウラギク	
	28	ウラボチチコグサ	
	29	エノキ	
	30	エノログサ	
	31	オオアレチノギク	
	32	オオイヌタデ	
	33	オオオナモミ	
	34	オオキンケイギク	
	35	オオシマザクラ	
	36	オオスズメカタビラ	
	37	オオブタクサ	
	38	オオフタバムグラ	
	39	オオマツヨイグサ	
	40	オカヒジキ	
	41	オンロイバナ	
	42	オウツチカタバミ	
	43	オニグルミ	
	44	オニノゲンシ	
	45	オブンディア属	
	46	ガガイモ	
	47	カタバミ	
	48	カタボウシノケグサ	
	49	カナムグラ	
	50	カモジグサ	
	51	カラスノエンドウ	
	52	カラスムギ	
	53	カロライナアオイゴケ	
	54	カワラヨモギ	
	55	キキョウソウ	
	56	ギンギン	
	57	キツタ	
	58	ギョウギシバ	
	59	クコ	
	60	クサイ	
	61	クズ	
	62	クスイキ	
	63	クロマツ	
	64	コウボウシバ	
	65	コウボウムギ	
	66	コセンダングサ	
	67	コニシキソウ	
	68	コバンソウ	
	69	コマツヨイグサ	
	70	コメツブウマゴヤシ	

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(2) 出現種一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
植物 (続き)	71	コメツブツメクサ	植物 (続き)	156	ヒナキキョウソウ
	72	コモチナデシコ		157	ヒメクグ
	73	コモチマンネングサ		158	ヒメコバンソウ
	74	サナエタデ		159	ヒメジョオン
	75	サフランモドキ		160	ヒメヒレアザミ
	76	シオクグ		161	ヒメマツバボタン
	77	シナガワハギ		162	ヒメマツヨイグサ
	78	シナダレスズメガヤ		163	ヒメムカシヨモギ
	79	シバ		164	ヒルガオ
	80	シャリンバイ		165	ヒルザキツクミソウ
	81	シロザ		166	ビロードモウズイカ
	82	シロツメクサ		167	ブタナ
	83	シロバナシナガワハギ		168	フヨウ
	84	シロバナマンテマ		169	ヘクソカズラ
	85	スイバ		170	ヘラオオハコ
	86	ススキ		171	ホコガタアカザ
	87	スズメノエンドウ		172	ホソバハマアカザ
	88	スズメノチャヒキ		173	ホソムギ
	89	セイタカアワダチソウ		174	ポタンヅル
	90	セイタカハハコグサ		175	マサキ
	91	セイタカヨシ		176	マツバウンラン
	92	セイバンモロコシ		177	マツヨイグサ属
	93	セイヨウタンポポ		178	マテバシイ
	94	セイヨウヒキヨモギ		179	マメグンバイナズナ
	95	センダン		180	マンテマ
	96	センニンソウ		181	ミズナラ
	97	タイトゴメ		182	ミチヤナギ
	98	タイワンハチジョウナ		183	ムクノキ
	99	タチヌノフグリ		184	メドハギ
	100	タチバナモドキ		185	メヒシバ
	101	タデ科		186	メマツヨイグサ
	102	ダンチク		187	メリケンキンソウ
	103	チガヤ		188	メリケンムグラ
	104	ツキミマンテマ		189	モモ
	105	ツボミオオハコ		190	ヤエムグラ
	106	ツメクサ		191	ヤノネボンテンカ
	107	ツルナ		192	ヤマアワ
	108	ツルマメ		193	ヤマモモ
	109	ツワブキ		194	ヨシ
	110	テリハノイバラ		195	ヨモギ
	111	トウネズミモチ		196	ランタナ
	112	トキワサンザシ		1	ウスヒザラガイ
	113	トゲチシャ		2	ウスヒザラガイ科
	114	トベラ		3	ケハダヒザラガイ
	115	ナガエツルノゲイトウ		4	ババガセ
	116	ナガバキシギシ		5	ヒザラガイ
	117	ナガミヒナゲシ		6	ヒメケハダヒザラガイ
	118	ナギナタガヤ		7	ヤスリヒザラガイ
	119	ナヨクサフジ		1	アオウミウシ
	120	ナルトサウキク		2	アオガイ
	121	ナンキンハゼ		3	アオガイ類
	122	ニワウルシ		4	アカエラミノウミウシ
	123	ニワゼキショウ		5	アカニシ
	124	ヌカススキ		6	アシヤガイ
	125	ヌルデ		7	アマクサアメフラシ
	126	ネコハギ		8	アメフラシ
	127	ネズミホソムギ		9	アラムシロガイ
	128	ネズミムギ		10	アラレタマキヒガイ
	129	ノイバラ		11	インダタミガイ
	130	ノゲシ		12	イシマキガイ
	131	ノヂシャ		13	イズミドリガイ
	132	ノミツヅリ		14	イナザワハベガイ
	133	ノランジン		15	イナハミノウミウシ
	134	ハナヌカススキ		16	イバラウミウシ
	135	ハハコグサ		17	イボウミナ
	136	ハマアザミ		18	イボニシ
	137	ハマウド		19	ウスコミミガイ
	138	ハマエンドウ		20	ウノアシガイ
	139	ハマオモト		21	ウミナメクジ
	140	ハマゴウ		22	ウミニナ
	141	ハマスゲ		23	ウミフクロウ
	142	ハマダイコン		24	エドイトカケギリ
	143	ハマナス		25	オオシイノミガイ科
	144	ハマナデシコ		26	オオヘビガイ
	145	ハマニンニク		27	オトメガサ
	146	ハマビシ		28	カゴメガイ
	147	ハマヒルガオ		29	カスミノウミウシ
	148	ハマボウ		30	カスリアオガイ
	149	ハマボウフウ		31	カラマツガイ
	150	ハマボッス		32	カワザンショウガイ
	151	ハママツナ		33	キクノハナガイ
	152	ハリエンジュ		34	キセツワタガイ
	153	ハルノゲシ		35	キヌボラ
	154	ヒエガエリ			
	155	ヒナギキョウ			

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(3) 出現種一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名		
貝類 (続き)	巻き貝 (続き)	36 キリオレガイ	貝類 (続き)	二枚貝 (続き)	30 バカガイ		
		37 クチキレガイ			31 ハザクラガイ		
		38 クビレクワガイ			32 ハボウキガイ		
		39 クモリアオガイ			33 ヒナノズキン		
		40 クリイロカワザンショウ属			34 ヒバリガイ		
		41 クロコソテウミウシ			35 ヒメアサリ		
		42 クロヅケガイ			36 ヒメカノコアサリ		
		43 クロミドリガイ			37 ヒメシラトリガイ		
		44 コウダカアオガイ			38 フナクイムシ		
		45 コウダカマツムシ			39 ホトトギスガイ		
		46 コシダカエビス			40 マガキ		
		47 コシダカガンガラ			41 マツカゼガイ		
		48 コベルトカニモリ			42 マツヤマウスレ		
		49 コメツブガイ			43 マテガイ		
		50 コモレビコガモガイ			44 ミミエガイ		
		51 ザクロガイ			45 ムラサキイガイ		
		52 サザエ			46 ヤマトシジミ		
		53 サツマクリイロカワザンショウ			47 ユウシオガイ		
		54 シボリガイ			多毛類	1 Glycera属	
		55 シマハマツボ				2 Hydroides sp.	
		56 シマメノウフネガイ				3 Lepidonotus属	
		57 シロイバラウミウシ				4 Perinereis属	
		58 シロウミウシ				5 Spirobranchus属	
		59 シロフシエラガイ				6 アシナゴコカイ	
		60 スオウクチキレガイ				7 イソゴカイ	
		61 スガイ				8 ウズマキゴカイ科	
		62 セトベッコウタマガイ				9 ウミケムシ	
		63 タマキビガイ				10 ウロコムシ科	
		64 チグサガイ				11 エゾカサネカンザシゴカイ	
		65 ツメタガイ				12 オノミチチロリ	
		66 トウガタガイ科				13 カニヤドリカンザシゴカイ	
		67 ヒメコザラガイ				14 カワゴカイ属	
		68 フジタウミウシ				15 カンザシゴカイ科	
		69 ブドウガイ				16 クマノアシツキ	
		70 フトヘナタリ				17 ケヤリムシ	
		71 フレイトゲアメフラシ				18 ゴカイ科	
		72 ホソウミニナ				19 コケゴカイ	
		73 ホソソシアオガイ				20 サミドリサシバ	
		74 マダラウミウシ				21 サンハチウロコムシ	
		75 マツカサウミウシ				22 シライトゴカイ	
		76 マツバガイ				23 シリス科	
		77 マルウズラタマキビガイ				24 シロマダラシリス	
		78 ミドリアマモウミウシ				25 スゴカイイソメ	
		79 ミノウミウシ亜目				26 スナイソゴカイ	
		80 ミミガイ属				27 タマシキゴカイ	
		81 ミヤコドリガイ				28 タマシキゴカイ科	
		82 ムギガイ				29 チロリ	
		83 ムツイバラウミウシ				30 チロリ科	
		84 ムラクモキジビキガイ				31 ツバサゴカイ	
		85 メリベウミウシ属				32 ナデシコカンザシ	
		86 モロハタマキビ				33 ハヤテシロガネコカイ	
		87 ヤマトウミウシ				34 ボウセキウロコムシ科	
		88 ヨコイトカケギリ				35 ホコサキゴカイ科	
		89 ヨコスジギリ				36 マサゴゴカイ	
		90 ヨメガカサガイ				37 ミズヒキゴカイ	
		91 レイシガイ				38 ミズヒキゴカイ科	
		二枚貝				1 アオカリガネエガイ	39 ミロクウロコムシ
						2 アサリ	40 ムツエダカンザシゴカイ
						3 アリアケケボリ	41 ヤッコカンザシ
						4 イシマテガイ	42 ヤマトカワゴカイ
						5 イタボガキ属	43 多毛類
					6 イワガキ	ヨコエビ・フレカラ類	1 アカヒゲドロソコエビ
					7 ウスカラシオツガイ		2 アリアケドロクダムシ
					8 ウスユキミノガイ		3 オオサカドロソコエビ
					9 ウネナシトマヤガイ		4 オオゼキモクス
					10 ウロコガイ科		5 オオフレカラ
					11 エガイ属		6 クビナガフレカラ
					12 オチバガイ		7 タテソコエビ科
					13 オハグロガキ属		8 トゲフレカラ
					14 カガミガイ		9 トンガリドロクダムシ
					15 カリガネエガイ		10 ニッポンモバヨコエビ
					16 キヌマトイガイ		11 ニホンドロソコエビ
					17 クイチガイサルボウ		12 ヒゲツノメリタヨコエビ
					18 クチバガイ		13 ヒゲナガヨコエビ科
					19 クログチガイ		14 ヒゲナガヨコエビ属
					20 ケガキ		15 ヒメハマトビムシ
					21 コウロンカワヒバリガイ		16 フサゲモクス
					22 サクラガイ		17 フトメリタヨコエビ
					23 サルボウガイ		18 ホシエットゲオヨコエビ
					24 セミアサリ		19 マルエラフレカラ
					25 ソトオリガイ		20 メリタヨコエビ属
					26 タマエガイ		21 モズミヨコエビ
					27 トマヤガイ		22 ヨコエビ類
					28 ナミマガシワガイ		23 フレカラ類
					29 ニッポンマアゲマキガイ		

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(4) 出現種一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名
フジツボ類	1	アカフジツボ	魚類 (続き)	15	ウミタナゴ
	2	アメリカフジツボ		16	ウミタナゴ属
	3	イワフジツボ		17	ウロハゼ
	4	カメノテ		18	オオカズナギ
	5	クロフジツボ		19	オクヨウジ
	6	サンカクフジツボ		20	カサゴ
	7	シロスジフジツボ		21	カワハギ
	8	タテジマフジツボ		22	キヌカジカ
	9	ドロフジツボ		23	キュウセン
	10	ヨーロッパフジツボ		24	ギンボ
ヤドカリ類	1	イクビホンヤドカリ	25	クサフグ	
	2	イザナミツノヤドカリ	26	クジメ	
	3	イソカナダマシ	27	クロソイ	
	4	ケアシホンヤドカリ	28	クロダイ	
	5	ケブカヒメヨコバサミ	29	クロメバル	
	6	コブカナダマシ	30	ゴンズイ	
	7	コブヨコバサミ	31	ササノハベラ属	
	8	ツノヤドカリ属	32	サバフグ属	
	9	テナガツノヤドカリ	33	サラサカジカ	
	10	ヒラトケガニ	34	シロメバル	
	11	フトウテネジレカナダマシ	35	スジハゼ	
	12	ホンヤドカリ	36	スズキ	
	13	ユビナガホンヤドカリ	37	スズメダイ	
カニ類	1	アカテガニ	38	スナビケニン	
	2	アカホシマメガニ	39	セシジボラ	
	3	アシハラガニ	40	ダイナンギンボ	
	4	アミメキンセンガニ	41	タケギンボ	
	5	インガニ	42	タケノメバル	
	6	イソガニ	43	チチブ	
	7	イソクスガニ	44	トビヌメリ	
	8	イッカクガニ	45	トラフグ属	
	9	イッカクモガニ	46	ドロメ	
	10	イボイチョウガニ	47	ナベカ	
	11	イワガニ	48	ニシキギンボ属	
	12	オウキガニ	49	ニホンウナギ	
	13	オサガニ	50	ヌメリゴチ	
	14	カクベンケイガニ	51	ネスツボ属	
	15	ガザミ	52	ネスミゴチ	
	16	カネコブシ	53	ハゼ科	
	17	クロベンケイガニ	54	ハナダツ	
	18	ケブカアワツツガニ	55	ヒガンフグ	
	19	ケフサイソガニ	56	ヒメハゼ	
	20	コブシガニ科	57	ヘビギンボ属	
	21	コメツキガニ	58	ホウボウ	
	22	シオマネキ	59	ホウボウ科	
	23	シワオウギガニ	60	ボラ	
	24	スナガニ	61	ボラ科	
	25	スナガニ属	62	ホンベラ	
	26	スネナガイソガニ	63	マコガレイ	
	27	スベスベオウギガニ	64	マハゼ	
	28	タイワンガザミ	65	ミミズハゼ属	
	29	タカノケフサイソガニ	66	ミミズハゼ属(イソ型)	
	30	チチュウカイミドリガニ	67	ムスジガジ	
	31	トガリオウギガニ	68	ムラソイ	
	32	ハクセンシオマネキ	69	メジナ	
	33	ハマガニ	70	メバル科	
	34	ヒメケブカガニ	71	メバル属	
	35	ヒメベンケイガニ	72	ヨウジウオ	
	36	ヒメヤマトオサガニ	1	アオスジアゲハ	
	37	ヒライソガニ	2	アオドウガネ	
	38	ヒライソガニ属の一種	3	オオスナゴミムシダマシ	
	39	フクイカムリ	4	オオハリアリ	
	40	フタハベニツケガニ	5	カメムシ類	
	41	ヘリトリマンシュウガニ	6	キチョウ	
	42	マキトラノオガニ	7	コマダラチョウ	
	43	マメコブシガニ	8	セマダラコガネ	
	44	モクスガニ	9	ダンダラテントウ	
	45	ヤマトオサガニ	10	ツチカメムシ	
	46	ヨツハモガニ	11	ナナホシテントウ	
	47	ヨツハモドキ	12	ナミテントウ	
	48	ワタクズダマシ	13	ハマベハサミムシ	
魚類	1	アイナメ	14	ヒナカマキリ	
	2	アオタナゴ	15	ホソヒラタアブ属	
	3	アカエイ	16	ムラサキウミトビムシ	
	4	アゴハゼ	17	モモフトビイロサシガメ	
	5	アサヒアナハゼ	18	モンシロチョウ	
	6	アナハゼ	19	ヤマトシジミ(昆虫)	
	7	アベハゼ	1	ヌマガエル	
	8	アミメハギ	1	アオサギ	
	9	アユ	2	イカルチドリ	
	10	インガレイ	3	イソシギ	
	11	イソギンボ	4	イソヒヨドリ	
	12	イダテンギンボ	5	ウミネコ	
	13	ウシバタ科			
	14	ウマヅラハギ			
			両生類		
			鳥類		

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。

表1(5) 出現種一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	分類群	No.	和名				
鳥類 (続き)	6	オオソリハシシギ	その他 (続き)	58	ハマワラジムシ属				
	7	オオヨシキリ		59	フナムシ				
	8	カルガモ		60	ヘラムシ科				
	9	カワウ		61	ヨツバコツブムシ				
	10	カワラバト		タナイス類	62	キスイタナイス種群			
	11	カワラヒワ		63	タナイス科				
	12	キアシシギ		エビ類	64	アシナガスジエビ			
	13	キジバト			65	アシナガモエビモドキ			
	14	コアシサシ			66	イソスジエビ			
	15	ゴイサギ			67	イソテッポウエビ種群			
	16	コサギ			68	イソモエビ			
	17	コチドリ			69	エビジャコ属			
	18	ササゴイ			70	クルマエビ			
	19	シロチドリ			71	コシマガリモエビ			
	20	スズメ			72	スジエビモドキ			
	21	セッカ			73	スジエビ類			
	22	ダイサギ			74	セジロムラサキエビ			
	23	チュウシャクシギ			75	ツノモエビ			
	24	ツバメ			76	テッポウエビ			
	25	ハクセキレイ			77	テッポウエビ属			
	26	ハシブトガラス		78	テッポウエビ属の一種E				
	27	ハシボソガラス		79	テナガエビ				
	28	ハヤブサ		80	ホソモエビ				
	29	ヒバリ		81	ユビナガスジエビ				
	30	ヒヨドリ		82	ヨシエビ				
	31	ミサゴ		アナジャコ類	83	スナモグリ			
	32	ムクドリ			84	ニホンスナモグリ			
	33	メダイチドリ			85	ハルマンスナモグリ			
					86	ヨコヤアナジャコ			
	その他	カイメン類		1	Antho sp.	ギボシムシ類	87	ギボシムシ科	
				2	イソカイメン科		ヒトデ類	88	イトマキヒトデ
				3	カワナンカイメン属			89	キヒトデ
				4	クロイソカイメン			90	チビイトマキヒトデ
5			コエダカイメン	91	トゲモミジガイ				
6			ダイダイイソカイメン	92	ヌノイトマキヒトデ				
7			ナミイソカイメン	93	ヒメヒトデ				
8			普通海綿綱	94	ヤツデヒトデ				
9			ムラサキカイメン	クモヒトデ類	95	ダイリンチビクモヒトデ			
クラゲ類		10	アカクラゲ		96	ナガトゲクモヒトデ			
		11	カギノテクラゲ		97	ニホンクモヒトデ			
		12	ミスクラゲ	ウニ類	98	アカウニ			
ヒドロ虫類		13	ウミシバ科		99	サンショウウニ			
		14	シロガヤ		100	ハスノハカシパン			
イソギンチャク類		15	タテジマイソギンチャク		101	バランウニ			
		16	ヒメイソギンチャク	102	ムラサキウニ				
		17	ペリルイソギンチャク	ナマコ類	103	イカリナマコ科			
		18	ヨロイイソギンチャク		104	イシコ			
		19	ヨロイイソギンチャク属		105	トゲイカリナマコ			
		20	ウメボシイソギンチャク科		106	ヒモイカリナマコ			
有櫛類		21	ウリクラゲ	107	フトゲイカリナマコ				
		22	ウスヒラムシ	108	マナマコ				
ヒラムシ類		23	オオツヒラムシ	109	ムラサキクルマナマコ				
		24	ツヒラムシ	ホヤ類	110	アスキヤ科			
		25	ヒラムシ類		111	イタボヤ属			
		26	ミノヒラムシ		112	イタボヤ科			
ヒモムシ類		27	ヒモムシ類		113	ウスボヤ科			
		28	ホソドリヒモムシ科		114	エボヤ			
		29	ミドリヒモムシ		115	カタユウレイボヤ			
腕足類		30	リュウキュウヒモムシ		116	カラスボヤ			
		31	シャヤセンガイ属		117	シロウスボヤ			
コケムシ類		32	スズメガイダマシ		118	シロボヤ			
		33	<i>Buglina stolonifera</i>		119	シロボヤ科			
	34	アミコケムシ科	120		スジキレボヤ				
	35	アミメコケムシ科	121	ナツメボヤ					
	36	コケムシ類	122	フタスジボヤ					
	37	チゴケムシ	123	ホヤ綱					
	38	ヒラコケムシ科	124	マクラボヤ					
	39	フサコケムシ	125	マボヤ科					
	40	ホンダワラコケムシ	126	マンジュウボヤ					
	頭足類	41	マダコ	127	マンハッタンボヤ				
42		ヒメイカ	128	ユウレイボヤ					
ホシムシ類	43	イケダホシムシ	129	群体ボヤ類					
	44	サメハダホシムシ	ナメクジウオ類	130	ヒガシナメクジウオ				
ユムシ類	45	ユムシ							
	46	イソミズ							
貧毛類	47	ハエトリゴモ科							
	48	クモ類							
ウミグモ類	49	シマウミグモ							
	50	ウミホタル							
貝形虫類	51	ウンモンフロムシ							
	フクロムシ類	52	イソコツブムシ						
53		イソコツブムシ属							
54		イソヘラムシ							
55		キタフナムシ							
56		コツブムシ科							
57		ニホンコツブムシ							
57		ニホンコツブムシ							

水色セル:種まで同定されていないもの、種数計数からは除いた。ただし、ヒライソガニ属の一種は種名が確定されていないだけで、種としては確立しているため、計数した。

3. 調査シートのリスト掲載種の出現状況

3-1. 平成 28 年度結果

調査シート掲載種の調査箇所別出現状況を表 2 に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表 2 調査シート掲載種の調査箇所別出現状況（平成 28 年度）

分類群	No.	和名/地点	地点No.																												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	16	17	19	20	21	23	24	25	26	27	28	29	合計			
海藻類	緑藻類	1 アナアオサ		●	●		●					●	●		●	●		●				●	●	●	●				13		
		2 スジアオノリ				●						●	●													●				4	
		3 オゴノリ										●	●		●										●	●	●				6
植物	1 オカビジキ		●	●			●				●	●												●					7		
	2 コウボウムギ		●	●	●															●										4	
	3 ハマウド				●		●														●			●			●			5	
	4 ハマゴウ		●	●	●							●									●									6	
	5 ハマダイコン		●	●	●		●														●	●				●				9	
	6 ハマボウフウ		●	●								●	●								●									5	
貝類	巻き貝類	1 アラレタマキビガイ	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17	
		2 イシマキガイ		●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
		3 イボニシ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19
		4 タマキビガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
		5 フレリトゲアメフラシ									●																				1
	二枚貝類	6 アサリ		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13
		7 ウスカラシオツガイ		●	●			●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6
		8 ウネナントマヤガイ		●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8
		9 クチバガイ		●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	7
		10 ケガキ	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10
		11 コウロエンカワヒバリガイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15
		12 マガキ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	21
		13 ムラサキイガイ	●	●			●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17
フジツボ類	1 アカフジツボ	●																											1		
	2 アメリカフジツボ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	
	3 クロフジツボ	●										●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	
	4 シロスジフジツボ				●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	
	5 タテジマフジツボ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20	
	6 ドロフジツボ				●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8	
	7 ヨーロッパフジツボ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	
ヤドカリ類	1 ホンヤドカリ	●																											7		
	2 ユビナガホンヤドカリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20	
カニ類	1 アカテガニ				●																								1		
	2 アシハラガニ				●		●							●													●			4	
	3 イソガニ			●			●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9	
	4 オウギガニ	●													●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	
	5 クロベンケイガニ			●	●	●																					●			5	
	6 ケフサイソガニ		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18	
	7 スナガニ															●													1		
	8 タカノケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	
	9 チチュウカイミドリガニ		●	●	●	●															●							●	7		
	10 ハクセンシオマネキ		●		●																							●		9	
	11 ヒライソガニ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
	12 ヤマトオサガニ		●		●											●												●		5	
その他	1 多毛類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	25	
	2 ヨコエビ類	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	25	
種類数(●の数)			16	23	25	25	6	20	15	22	14	27	22	21	19	12	8	20	11	15	12	12	17	14	20	8	16	43			

注: 1) ●:種まで同定されたもの □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)

2) 種名は各分類群中で五十音順。

3) 地点地点No.10の近木川河口は2団体の調査結果を統合した。

調査シートの一覧掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図3に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第24回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型や内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキは25地点中21地点で、ユビナガホンヤドカリは20地点で確認されました。内湾～外海型の生物ではイボニシが19地点で、河口型の生物ではケフサイソガニが18地点、タカノケフサイソガニが14地点で確認されました。なお、今年度は調査シートに掲載された37種（海浜植物6種除く）全種がいずれかの地点で確認されました。

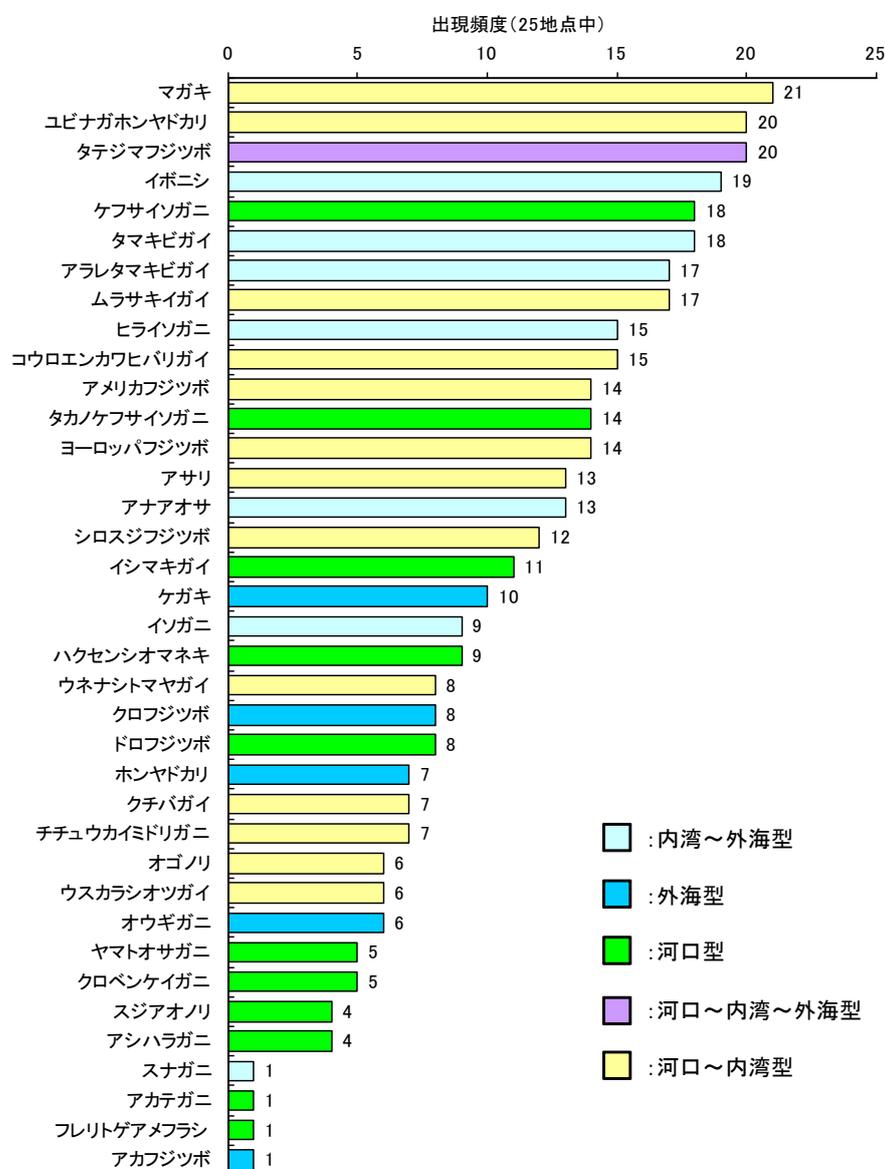
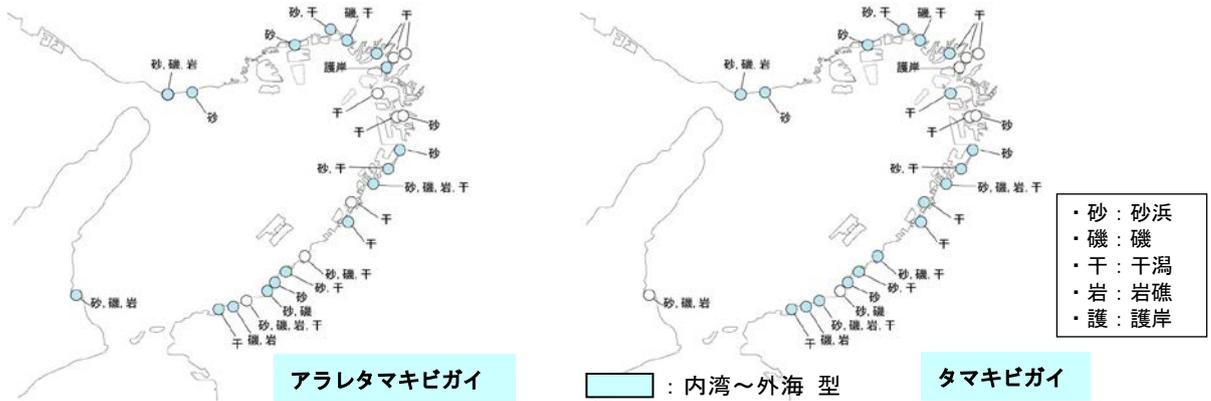


図3 調査シート掲載種の生態型と出現頻度（平成28年度）

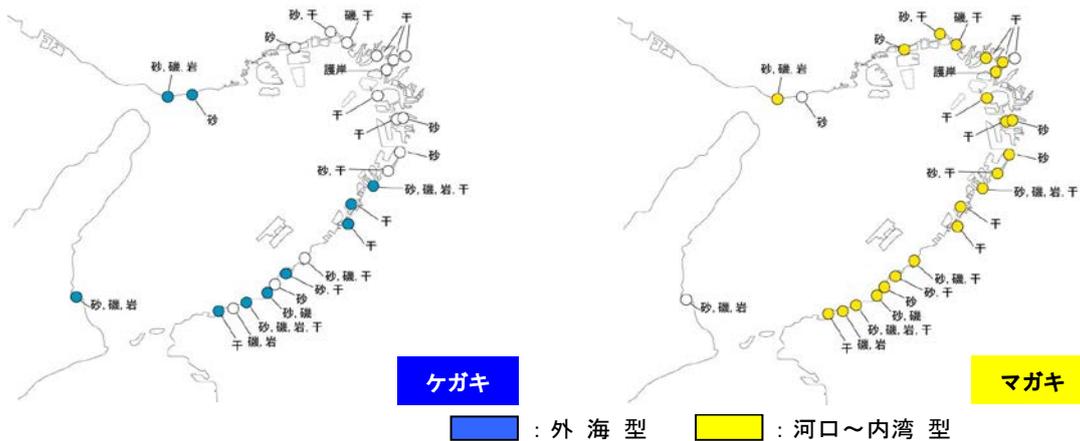
調査シートのリスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図4(1)～(4)に示しました。

貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型で、アラレタマキビガイは高潮帯の波しぶきの当たる所を好みますが、今年は静穏な湾奥まで広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



- 外海型のホンヤドカリは、舞子一榎井川・岡田浦ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは湾内のほぼ全域で出現しました。

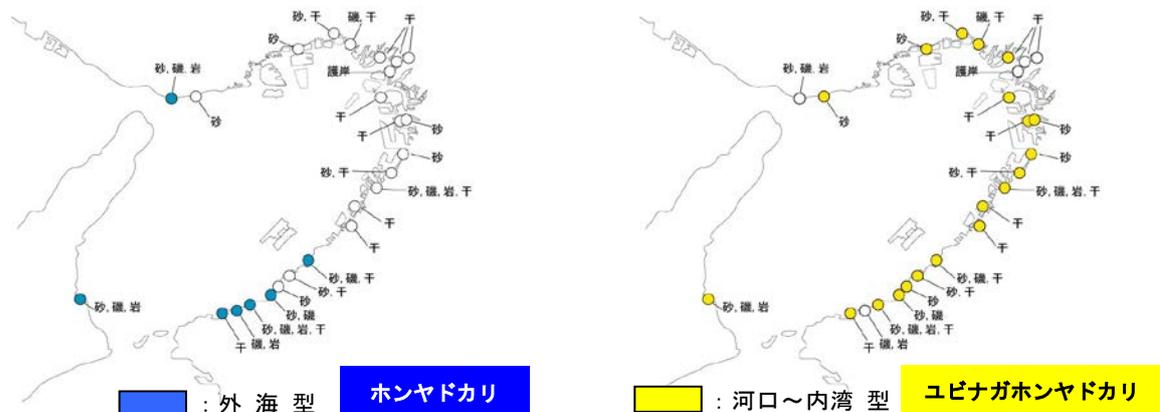
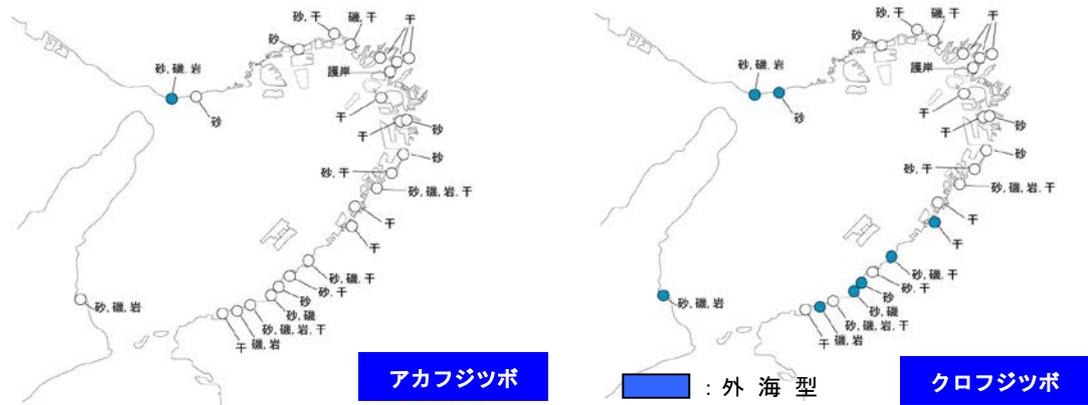


図4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—平成28年度

フジツボ類

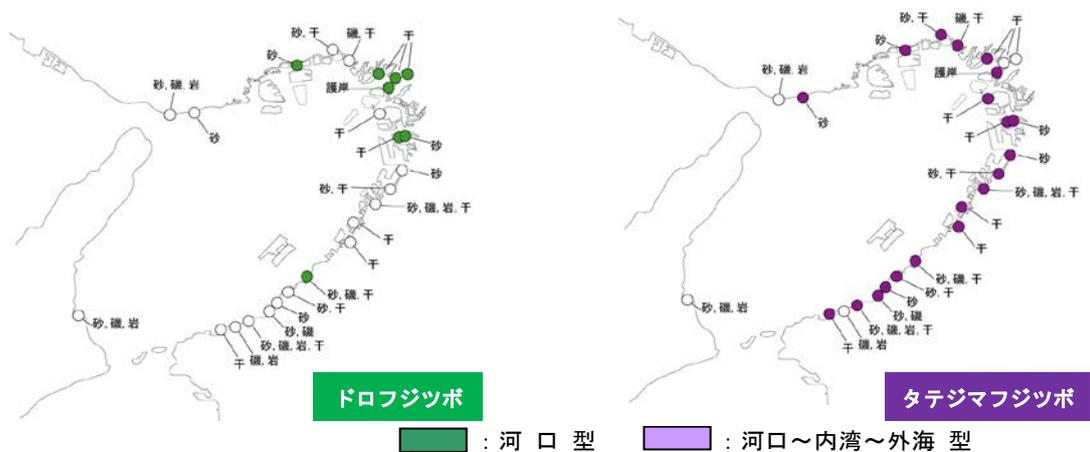
- 外海型のアカフジツボは舞子のみで、クロフジツボは須磨—近木川ラインより湾口側で出現しました。



- 河口～内湾型のヨーロッパフジツボは湾中央～湾奥部で出現し、シロスジフジツボ、アメリカフジツボはこれよりやや湾口寄りまで出現しました。 : 河口～内湾型



- 河口型のドロフジツボは主に湾奥で淡水の影響の強い河口付近の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。



- なお、アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図4(2) 代表的な種の分布（フジツボ類）—平成28年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニが確認されたのは、淡路島側の1地点のみでしたが、生息孔が確認されている地点（属）は大阪府と兵庫県側で各1地点でした。

砂浜に生息する

□ : 内湾～外海 型

スナガニ

- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは香櫨園・矢倉干潟・大津川・男里川・深日漁港干潟などの河口や泥質干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



ヤマトオサガニ



ハクセンシオマネキ

- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。

砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣



アシハラガニ



クロベンケイガニ



アカテガニ

■ : 河口型

図4(3) 代表的な種の分布(カニ類) -平成28年度

外来種

- ミドリイガイは昨年に続き本年も確認されませんでした。ミドリイガイは主に潮下帯に着生し、潮間帯の観察では見つけにくいいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

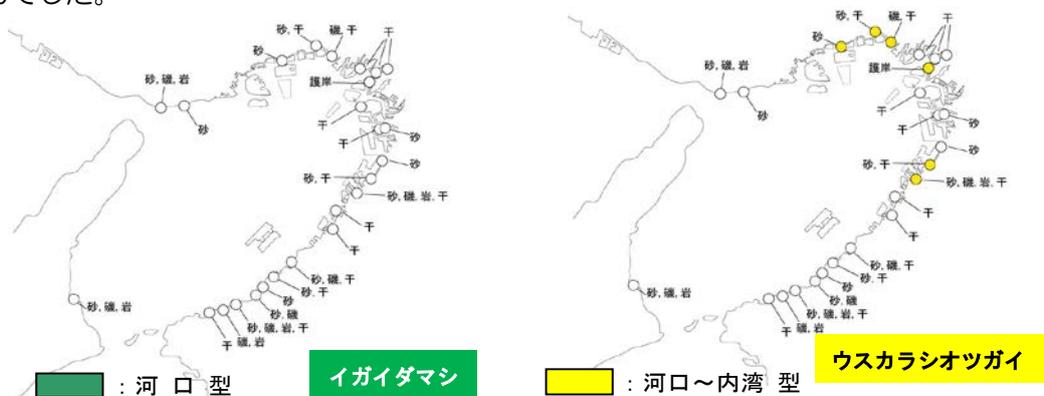
- ムラサキイガイは湾奥～湾口まで広域で確認されました。

■ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニは湾奥の地点で出現しました。

■ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシは本年は確認されませんでした。ウスカラシオツガイは湾奥～湾中間域の限定された地点で出現しました。カニヤドリカンザシゴカイは確認されませんでした。



- 外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられました。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種)ー平成28年度

3-2. 過年度との比較

調査シートのリスト掲載種について、平成 20～28 年度調査結果を併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度の調査シート掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、9 ヶ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。

付表(1) 貴重種の出現状況一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2012年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
海藻類	緑藻類	1	スジアオノリ			減少傾向			
	紅藻類	2	タニコケモドキ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧			
		3	ホソアヤギヌ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧			
海草類	1	ウミヒルモ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧				
	2	コアマモ	(絶滅危惧Ⅰ類)				希少		
植物 (調査シート記載種のみ)	1	コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類					
	2	ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類					
	3	ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類					
貝類	巻き貝	1	アカニシ			減少	危険		
		2	イシマキガイ			減少			
		3	イナザワハベガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		4	イボウミナ	(絶滅危惧Ⅰ類)	情報不足	絶滅危惧Ⅱ類		絶滅寸前(危険)	絶滅危惧Ⅱ類
		5	ウスコミガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		6	ウミナメクジ		情報不足			危険	
		7	ウミミナ		準絶滅危惧	準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧
		8	エドイトカケギリ			準絶滅危惧			準絶滅危惧
		9	カワザンショウガイ		準絶滅危惧				
		10	クチキレガイ		情報不足				
		11	クリイロカワザンショウ属	(絶滅危惧Ⅱ類)					
		12	サツマクリイロカワザンショウ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧				
		13	シボリガイ		準絶滅危惧				
		14	スオウチキレガイ			準絶滅危惧			準絶滅危惧
		15	フトヘナタリ		準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		16	ホソウミナ		絶滅危惧Ⅰ類				
		17	マルウズラタマキビガイ					危険	
		18	ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		19	ムラクモシジキガイ			準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧
		20	モロハタマキビ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧			準絶滅危惧
		21	ヨコイトカケギリ		情報不足			危険	
		22	ヨコスジギリ		準絶滅危惧				
二枚貝	1	アリアケケボリ			絶滅危惧Ⅰ類			絶滅危惧ⅠB類	
	2	イワガキ				減少傾向			
	3	ウネナシトマヤガイ			準絶滅危惧		危険		
	4	オチハガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅(EX)	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
	5	オハグロガキ属		準絶滅危惧					
	6	カガミガイ		準絶滅危惧					
	7	クチハガイ			準絶滅危惧				
	8	サクラガイ		準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	9	ソトオリガイ		準絶滅危惧			危険		
	10	ニッポンマメアゲマキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	11	バカガイ		準絶滅危惧					
	12	ハザクラガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
	13	ハボウキガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
	14	ヒナノズキン			絶滅危惧Ⅰ類		絶滅	絶滅危惧ⅠB類	
	15	ヒメアサリ		準絶滅危惧					
	16	ヒメカノアサリ		準絶滅危惧					
	17	マツカゼガイ		準絶滅危惧					
	18	マテガイ	要注目	準絶滅危惧				LP(沖縄島)	
	19	ヤマトシジミ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧	準絶滅危惧			準絶滅危惧	
	20	ユウシオガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧	
多毛類	1	カワゴカイ属	(準絶滅危惧)						
	2	コケゴカイ	(準絶滅危惧)						
	3	スゴカイイソメ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧Ⅱ類					
	4	スナイソゴカイ	要調査						
	5	タマシキゴカイ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	6	チロリ	(準絶滅危惧)						
	7	ツバサゴカイ		絶滅危惧Ⅱ類			希少	絶滅危惧Ⅱ類	
	8	ヤマトカワゴカイ		情報不足					
ヨコエビ・ワレカラ類	1	オオサカドロソコエビ		絶滅危惧Ⅰ類				準絶滅危惧	
カニ類	1	アカテガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)					LP(東北地方)	
	2	アシハラガニ	(準絶滅危惧)					LP(陸奥湾)	
	3	アミキンセンガニ		絶滅危惧Ⅰ類					
	4	オサガニ	(絶滅危惧Ⅰ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	5	カネコブシ		準絶滅危惧	情報不足				
	6	クロベンケイガニ	(準絶滅危惧)						
	7	コメツキガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧					
	8	シオマネキ		絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	希少	危険	絶滅危惧Ⅱ類	
	9	スナガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧					
	10	スナガイソガニ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			希少	準絶滅危惧	
	11	ハクセンシオマネキ	(準絶滅危惧)		絶滅危惧Ⅱ類		危険	準絶滅危惧	
	12	ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)					準絶滅危惧	
	13	ヒメヤマトオサガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	14	マキトラノオガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧			希少		
	15	マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)	準絶滅危惧				準絶滅危惧	
	16	モクズガニ				減少傾向			
	17	ヤマトオサガニ	(準絶滅危惧)					LP(種子島)	

付表(2) 貴重種の出現状況一覧(平成28年度)

分類群	No.	和名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2012年度版RL 3)	水産庁 RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)
魚類	1	アユ			準絶滅危惧			
	2	イダテンギンボ	(絶滅危惧 I 類)					
	3	チチブ	要調査種					
	4	ニホンウナギ *1)			絶滅危惧 II 類	絶滅危惧 I B 類		
その他	腕足類	1	シャミセンガイ属	(絶滅危惧 I 類)				
	頭足類	2	ヒメイカ		絶滅危惧 II 類		減少	
	ユムシ類	3	ユムシ	(絶滅危惧 II 類)			普通/希少	準絶滅危惧
	等脚類	4	ヨツバコツブムシ		準絶滅危惧			
	エビ類	5	エビジャコ属	(絶滅危惧 II 類)				
		6	クルマエビ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			
		7	テッポウエビ	(準絶滅危惧)				
	アナジャコ類	8	ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)	絶滅危惧 II 類			
		9	ハルマンスナモグリ	(絶滅危惧 II 類)	絶滅危惧 II 類			
		10	ヨコヤアナジャコ	(準絶滅危惧)	準絶滅危惧			
	ウニ類	11	アカウニ				減少傾向	
		12	ハスノハカシパン	(絶滅危惧 II 類)	準絶滅危惧			
	ナマコ類	13	ヒモイカリナマコ	(絶滅危惧 II 類)	準絶滅危惧			危険
	ナメクジウオ類	14	ヒガシナメクジウオ	(絶滅危惧 II 類)			危急 *2)	危険 *2)

注)

1) 兵庫県版レッドリスト2014(貝類・その他無脊椎動物)、レッドリスト2010(植物・植物群落)と兵庫県版レッドデータブック2003(魚類)による。

()は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリに置換したものの。

2) 大阪府レッドリスト2014による。

3) 環境省 2012年度版レッドリスト

4) 水産庁.1998.日本の希少な野生水生生物に関するデータブック.社団法人日本水産資源保護協会.437pp.東京.

5) WWF Japan Science Reprint vol.3.1996.

評価「普通」は省略した。

6) 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック- 東海大学出版会. 神奈川県. 285pp.

7) 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物植物を対象とし、陸上植物は本調査の調査シート掲載種に限定した。

8) 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。

絶滅危惧 I 類: 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。

絶滅危惧 II 類: 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられる

準絶滅危惧: 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。

情報不足: 評価するだけの情報が不足している種。

要注目種(兵庫): 最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。

要調査種(兵庫): 改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。

要注目種(大阪): 「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。

減少傾向(水産庁): 長期的にみて減少しつつあるもの。

減少(水産庁): 明らかに減少しているもの。

希少(水産庁): 存続基盤が脆弱な種・亜種。

危急(水産庁): 絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。

危険(WWF): 絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断される

希少(WWF): 特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。

普通/希少(WWF): 地域により状況が異なる。

9) 表中網掛けは、今年度初確認の貴重種を示す。

10) 貴重種記載資料の該当府県の場所で出現していない場合もある。

*1) 環境省2012、大阪府2014リストともニホンウナギで有効。

*2) ナメクジウオで記載されている。

■平成28年度初確認の貴重種(表中網掛け)

エドイトカケギリ: 巻貝類

ムラクモキンビキガイ: 巻貝類

モロハタマキビ: 巻貝類

アリアケケボリ: 二枚貝類

ハザクラガイ: 二枚貝類

ヒナノズキン: 二枚貝類

ツバサゴカイ: 多毛類

ヤマトカワゴカイ: 多毛類

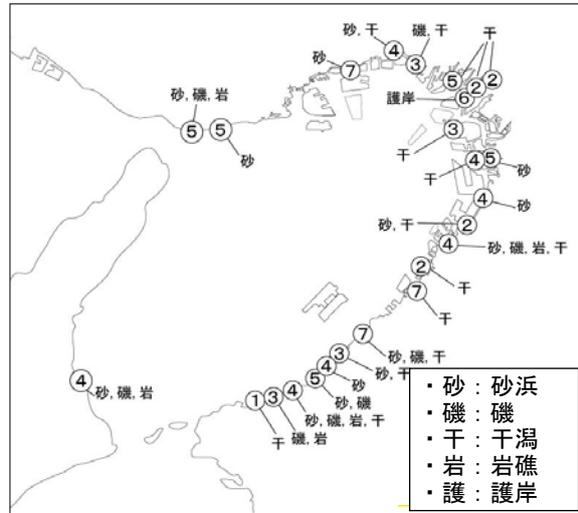
アミケンセンガンニ: カニ類

アカウニ: ウニ類

4. 調査テーマ「フジツボ」の結果

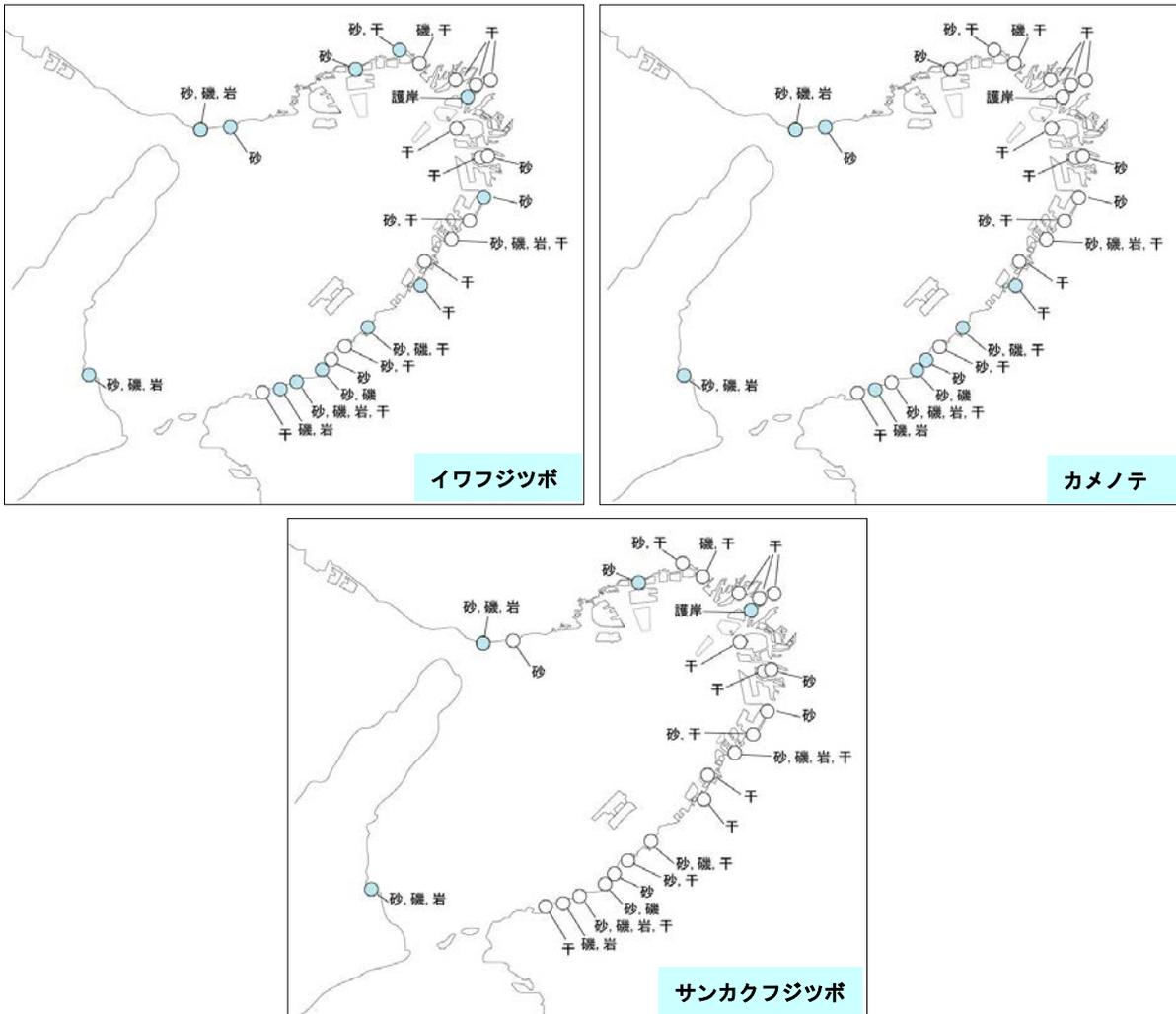
フジツボ類の本年の出現種数を図 5 に示します。本年のフジツボ類の確認種数は 10 種類でした。最も出現種数が多かった住吉川河口、近木川河口、榎井川河口（岡田浦海岸）で 7 種が確認されました。

また、内湾～外海型のイワフジツボ、カメノテ、サンカクフジツボの分布を図 6 に示します。イワフジツボは河川内・河口等を除く地点で出現しました。カメノテは、須磨～近木川河口ラインより湾口側で出現しました。サンカクフジツボは 4 地点で出現しました。



注) ○印の中の数字が出現種数である。

図 5 フジツボ類の出現状況（平成 28 年度）



■ : 内湾～外海型

図 6 フジツボ類の分布状況

5. スナメリ調査

5月18日及び6月11日に図7に示す経路で調査を実施しました。

5月18日の調査では阪南市沖で1群4頭を確認しました。6月11日の調査では確認されませんでした。

かつて瀬戸内海には多くのスナメリが生息していましたが、現在ではほとんど目にする事がなくなりました。

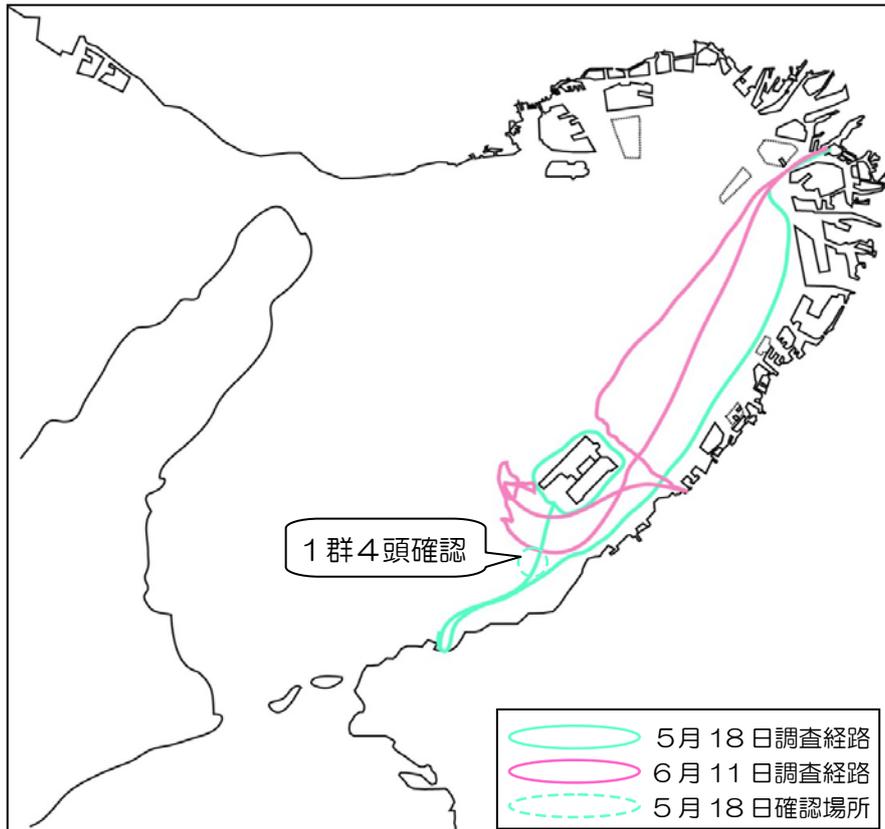


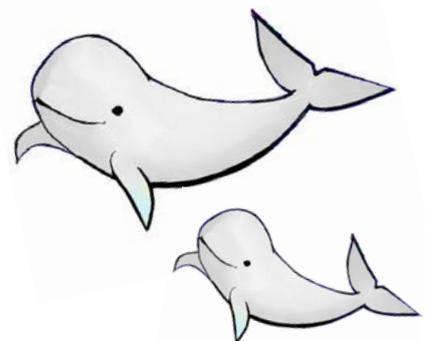
図7 スナメリ調査の経路と確認状況

【スナメリとは？】

水産庁のレッドデータブックに掲載されています。

- 英名：Finless porpoise
- 学名：*Neophocaena asiaeorientalis*
- 地方名：ナメ・ナメリ など
- 分類：クジラ目ハクジラ亜目 ネズミイルカ科
- 体長：最大2m程度
- 大阪湾におけるスナメリの生態的位置づけ：

スナメリの生息は健全な沿岸生態系のひとつの指標



スナメリ